

徳島市民病院

地域医療連携だより

 平成25年
1
 月号

 〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 徳島市民病院 地域医療連携室
 Tel(088)622-5121(代表)・Fax(0120)20-5583

徳島市民病院の理念

「思いやり・信頼・安心」

新年あけましておめでとうございます

新年のご挨拶

徳島市民病院事業管理者 露口 勝



平成25年の新春を迎え、皆様には謹んでお慶びを申し上げます。

昨年中は市民病院の病診連携事業にご理解とご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も引き続き宜しくお願いいたします。

市民病院は急性期医療を担う地域の中核病院として、皆様の病院や診療所と役割分担と連携をすすめ、この地域で完結する豊かな医療を構築したいと考えています。新年早々、耳鼻咽喉科の医師2名が着任し、手術を中心とした頭頸部領域の診療が新しく始まりまし

た。地域がん診療連携拠点病院として、頭頸部領域をはじめ幅広いがん診療に対処してまいりますので、患者さんの紹介等宜しくお願いいたします。

今年は新病院になって5年目に入ります。振り返れば、昭和3年の市立実費診療所の開設から数えて85年目に当たります。そこで、来る2月17日(日)にシビックセンターにおいて徳島市民病院85周年記念式典・講演会を開催いたします。皆様お誘い合わせの上、ご臨席賜りますよう宜しくお願いいたします。

本年が皆様にとりまして幸多い年になりますようお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

徳島市民病院院長 惣中 康秀



謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は病診連携にご協力いただきまして厚くお礼申し上げます。

昨年は民主党政権においてマニフェストの公約が十分守られず、年末に衆議院総選挙となりました。結果は民主党は惨敗し自民党の復活となりました。TPP問題、高齢化社会における医療費・年金問題、消費税問題、外交問題など問題点山積です。昨年5月には一旦すべての原発が止まりました。が、これからクリーンエネルギーを如何に獲得するかも問題になっています。安倍総理が復活しましたがなんとか乗り切るよう期待します。明るいことではロンドンオリンピックで日本人選手の活躍がみられました。生きている間に

もう一度東京オリンピックを見たいものです。また電波塔としては世界一の東京スカイツリーも完成しました。もうすでに行かれた方もいらっしゃると思いますが、こちらの方は機会を見つけて昇るつもりです。金環日食も運よく病院屋上ヘリポートから見る事ができました。映像では何度も見っていますが、肉眼で観察できたことは感動でした。

市民病院といたしましては新病院となって経営改善が計画通りに進み、2年連続で黒字経営となりました。昨年の診療報酬改定でも外科系の手技料がアップされたこともあり、今年度も黒字となる見込みでございます。診療科におきましては、今年1月から耳鼻咽喉科が、念願の2人体制にて常勤となりました。これからは入院手術も可能となりますのでご紹介のほどよろしくお願いいたします。

今年度は、昭和3年に徳島市立の病院(診療所:実費診療所)ができてから、85年目にあたるというこ

とで記念事業を企画してきました。内容は6回の市民公開講座と、病院まつり、世界糖尿病デーにあわせた病院のブルーライトアップ、シンボルツリー（蜂須賀桜）の記念植樹、記念講演会、記念式典などを実施および予定しております。病診連携の医院・病院の皆様や、地域住民の皆様に市民病院が元気に頑張っている姿をアピールしてまいります。

今年も“One for all,all for one!!”のラグビー精神にてワンランク上の病院を目指しております。

笑門来福!! 中瀬勝則先生が推進されている笑いでストレス解消し、この不況のご時世を乗り切りましょう! 本年も皆様方のご健康ご活躍をお祈りするとともに、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉科からのお知らせ

耳鼻咽喉科総括部長 田村 公一

平成25年1月より、耳鼻咽喉科が再スタートします。田村公一と藤本知佐（ともに日本耳鼻咽喉科学会専門医）との常勤医2名の体制となります。

今後、地域における病院耳鼻咽喉科としての役割を果たしていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

これまで大学派遣医師による週3日の午前中だけの外来で、入院対応もできませんでしたが、1月からは毎日午前中に一般外来が開設され、入院や手術の必要な患者さんの対応も可能となります。

一般外来に加え、今後は必要機器の導入とともに難聴、めまい、鼻アレルギー、嚥下障害、音声障害、睡眠時無呼吸などの専門外来も順次立ち上げていく予定で、現在の耳鼻咽喉科・頭頸部外科の守備範囲を全て当科で対応していけるよう整備を進めます。



(田村 公一)



(藤本 知佐)

たるなかで、地域の医療機関で対応が難しい医療を積極的に当科で実施していきたいと考えています。

どんな疾患やどんな手術？

保存的治療では、突発性難聴や顔面神経麻痺で糖尿病などの合併症を有する症例、めまい症例急性期症例が対象となります。また、聴力変動者や聴器毒性薬剤使用時の聴覚管理も実施します。

急性炎症では、扁桃周囲炎、口腔底蜂窩織炎、急性喉頭蓋炎や深頸部膿瘍で気道確保や頸部外切開など外科的対応を必要となる可能性のある症例の入院加療の受入を行います。

外傷では、鼻骨骨折や頬骨骨折、眼窩底骨折を含む顔面外傷例に対する観血的治療を行います。

異物では、外耳道、鼻腔、咽頭、食道での異物症例が対応できます。

時間外に頻度の高い急患の小児の急性中耳炎、鼻出血、めまい症例に専門的な立場から早期に対応できるよういたします。図に市中病院耳鼻科でのめまい疾患を示しますが、CCDカメラを用い眼振を正確に捉え、これらの疾患の正しい病態が診断できるようにし、治療やリハビリに結びつけていきます。

耳関係では、全身麻酔を必要とする鼓室内チューブ留置を行う症例、先天性耳瘻孔の症例、中耳炎で鼓室形成術を必要とする症例が対象となります。

耳鼻咽喉科の診療範囲は？

耳鼻咽喉科は、頭頸部の眼球と脳脊髄を除く全ての疾患を扱うことから、耳鼻咽喉科・頭頸部外科とも呼ばれるようになってきています。対象年齢も新生児から小児、成人、高齢者と全ての年代にわたっています。耳鼻咽喉科では、気道を形成する鼻、口腔、咽頭、喉頭、気管や食物の通過路である口腔、咽頭、唾液腺、食道の疾患を扱います。呼吸と嚥下という生命維持に不可欠な機能とその障害を扱い、治療します。聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚などの感覚器、発声器官や顔面神経などの運動器も扱います。聴覚と発声は重要なコミュニケーション手段であり、音声と顔の表情は個性の発現手段です。生命維持には必須ではありませんが、人にとって必要不可欠な機能で、よりよい生活を送るための手助けを行います。このような頭頸部外科全般にわ

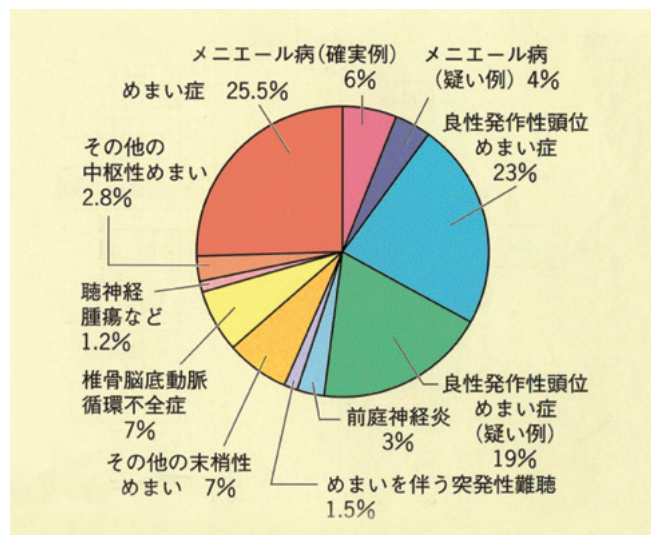


図 市中病院でのめまい疾患の臨床疫学
(耳鼻咽喉科診療プラクティス6、文光堂より)

鼻副鼻腔関係では、副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻副鼻腔手術、鼻閉に対する鼻中隔矯正術や下鼻甲介手術、アレルギー性鼻炎に対する鼻汁分泌抑制手術、眼科との共同での涙嚢鼻腔吻合術を実施します。

口腔咽喉頭では、習慣性扁桃炎やIgA腎症でのステロイドパルス施行前の扁桃摘出術、白斑症に代表される舌口腔粘膜の前癌病変に対する治療、消化器内視鏡検査に発見される咽喉頭早期癌の治療を行います。

喉頭では、外来での十分な音声機能検査を実施し、声帯ポリープや結節などによる嚁声に対する喉頭微細術、喉頭麻痺や声帯の萎縮による嚁声に対する音声改善手術、喉頭腫瘍例に対する喉頭レーザー手術を実施します。

睡眠時無呼吸症候群における、小児の閉塞型睡眠時無呼吸症候群では原因のアデノイドの増殖と扁桃肥大に対する手術を、CPAPのコンプライアンス不良例では鼻腔通気度改善目的での鼻内整復術やいびきの原因ともなりやすい口狭部の狭窄に対し軟口蓋形成術を検討いたします。

当院では数多くの出産に関係していることから、新生児の聴覚スクリーニングにも携わり、難聴児の早期発見に努めます。

NICUでの気道管理では、従来大学病院で行っていた気管開窓術、喉頭気管分離術などの気道関係の手術も当院で可能となります。

嚥下に関しては、誤嚥性肺炎患者の嚥下機能評価、高齢者や脳血管障害後の嚥下障害の診断と治療を行います。各人に対応した嚥下のリハビリを提供するとともに、嚥下改善手術や誤嚥防止手術も選択できるようないたします。

頸部腫瘍は、外科で行われている甲状腺腫瘍以外に、耳鼻科では耳下腺腫瘍や唾石による慢性顎下腺炎、正中頸嚢胞、側頸嚢胞、頸部リンパ節腫脹などを担当します。

聞こえない、言っていることがよく分からない、飲み込みが悪くなった、声が出しにくくなったと訴える患者さんは少なくありません。受診の際には、できるだけ患者さんの意欲を引き出し、これに応じた補助的な手段を講じ、生活を楽しむ手助けになるよう診療をすすめてまいります。

地域医療連携の先生方から信頼され、安心して紹介いただけるよう努めますので、よろしく願いいたします。



整形外科症例検討会(2金会)のご案内

次のとおり、整形外科症例検討会(2金会)を開催いたします。
整形外科の先生方は勿論、他科の連携医の先生方も是非ご参加ください。

- と き 平成25年1月18日(金) 19時より
ところ 徳島市民病院 3階 第一会議室
内 容 1) 人工関節再置換術の3例 整形外科主任医長 中村 勝
2) 膝痛を主訴に来院した股関節疾患症例
整形外科医師 玉置 康晃
3) 骨盤骨切り術後の恥骨偽関節について
臨床研修医 竹内 誠
4) 骨粗鬆症例の圧迫骨折陳旧例に対するBKPの実際
臨床研修医 濱 紳悟

— 特別講演 —

鎮痛剤の特徴とその使い分け
薬剤師 田澤 綾香

— お知らせ —

電子カルテシステム更新に伴う救急患者の受入れ制限について

当院では、電子カルテシステムの更新を予定しており、その作業期間の救急診療につきましては、受け入れを制限させていただく場合があります。皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【電子カルテシステム更新作業期間】

平成25年1月25日(金) 20:00～1月26日(土) 20:00

地域医療連携室からのお知らせ

地域医療連携室の診察予約用 FAX 機を増設しました。FAX が混み合い、受診申込書がなかなか届かないという状況が発生し、大変ご迷惑をおかけしておりましたが、今後は、よりスムーズに FAX 予約申込書のお受け取りが可能になりましたので、ご紹介よろしくお願いたします。

統計コーナー

診療科別「地域医療支援病院」の紹介率・逆紹介率

科名	11月							10月		9月	
	初診患者数 (人)	初診時間外 (人)	初診紹介患者 (人)	初診即入院 (人)	逆紹介患者 (人)	紹介率 (%)	逆紹介率 (%)	紹介率 (%)	逆紹介率 (%)	紹介率 (%)	逆紹介率 (%)
内科	361	144	172	45	104	80.5%	45.0%	74.8%	39.5%	67.9%	34.5%
小児科	275	149	78	68	47	59.7%	33.8%	62.8%	41.3%	65.6%	31.2%
外科	186	47	116	14	81	83.7%	57.4%	77.0%	46.6%	80.1%	54.6%
整形外	253	80	127	13	213	73.9%	121.0%	75.1%	100.0%	77.2%	118.4%
形成外	1	0	1	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	200.0%	66.7%	66.7%
脳神経	80	15	34	8	60	53.7%	89.6%	50.6%	76.5%	45.7%	71.6%
皮膚科	60	11	16	0	3	32.7%	6.1%	35.1%	12.3%	42.4%	3.0%
泌尿器	61	9	39	6	19	75.5%	35.8%	77.3%	68.2%	72.7%	54.5%
産婦人	91	14	45	6	23	58.4%	29.9%	67.8%	28.7%	56.7%	28.4%
眼科	26	9	8	0	6	47.1%	35.3%	30.0%	20.0%	36.8%	42.1%
耳鼻咽	17	2	1	0	8	6.7%	53.3%	18.8%	43.8%	6.3%	43.8%
放射線	61	0	61	0	67	100.0%	109.8%	98.9%	115.6%	100.0%	125.6%
合計	1,472	480	698	160	632	70.6%	61.5%	70.3%	59.6%	67.0%	57.9%

平成24年11月の紹介患者数(再診患者を含む)
325医療機関より1001名ご紹介いただきました。
ありがとうございました。

